ハートのアセンション日記

2013/02/23

No.5 国友

2012年の9月1日にNMCAAに入校しましたが、
4か月たっても、“愛”というものが良くわかりませんでした。
ハートに、意識の中心を置くという重要性さえ知りませんでした。

はじめりは、やはり、アカデミーの皆さんに心配していただいた（愛を贈って
もらった）ことが始まりでしょうか。

12月にある事があり、
アカデミーの皆さんに心配されて気を使っていた時に、胸にジーンと、
愛されている感覚を感じ、これが“愛”の感覚なのかと実感し、「みんなありが
とう」と感謝の気持ちが湧き起こると、これが「愛する」ということかと、“愛”
の感覚がわかったような気がしました。

つまり、
「愛されて」こそ「愛」を知り「愛する」ことを知る、
です。

本来なら、子供時代に「自然に」親から愛され、「自然に」愛を知り、「無意識
のうちに」愛することを身につけているのが、「自然な人生」なのかもしれませんが、

波乱に富んだ人生の中で、いつしか「愛」の感覚がわからなくなっていました。

第二の始まりは、
ファシリテーターの先生に、
「変化を待っているのではなく、自分から変わる!!と、選択する!!!」
と叱咤激励され、
発奮して、その晩、
「私は今、愛が目覚めることを許します」
「ハートから、愛が目覚め、あふれる出ることを選択します」
と、

夜中じゅう、延々ハートに意識の中心を置いて、「意志」続けていたら、
突然、荘厳な『日本国歌』が意識の中に鳴り響いて来ることがあり（ハートの

門が開いた？)、
さらに、いろいろ言い方を変えて試しながら、
「誰々に愛を贈ります」と延々「意志」続けていたら、
実際にハートが動いて愛を贈っている感覚が感じられて来るようになりました。

つまり、ハートから愛があふれ出て来るのを待つのではなく、無理やりにでも
「意志の力で出す！」ということです。
（“愛”を“意志の力”で無理やり出す、というのは変な言い方かもしれませんが、ほんとにそうなのです）

その後、「ハートに意識の中心を置いて考える」、という基本的なことを先生から教わり、
第三の始まりは、Ai先生から、「贈ったものが贈られる」という宇宙法則のお言葉をいただき、
「贈る！」という「中心となる一つのテーマ」が出来たことです。
それまでは、アカデミーで学ぶにあたって、「核（かく）」となるものがありませんでした。

正月の年賀状のお題をいただいたとき、「贈る」メッセージが何もないので、
メッセージの代わりに“愛”“そのものを「贈り」ました。実際に、とろけるような”愛”“が届きましたという御返事をいただくことが出来、

それ以後、ハートに意識の中心を置いて“愛”を贈ったり、レポートを贈ったり、
メッセージを贈ったりと、とにかく「贈る！」ということに焦点を合わせてライトワークに専念し続けました。

また、「贈るためのレポート」の機会を得るためにも、セミナーや勉強会に出まくりました。

元旦の日の出と共にハートが開いた、とお言葉をいただき、
やっとスタートラインに立った、と感じているこの頃です。

「愛」を感じ、「愛を贈る」ことでハートが開き、ハートが開くことでワクワク感が生じ、
ハートの奥に、安心感のある宇宙意識がほのかに感じられるようにもなり、
人生自体も、うまく流れるようになって来ました。

やはり、アセンションするには、ハートのチャクラ〔愛と魂の座〕を開くことが大事であり、
ハートを開くには、ハートから“愛”を贈り続けることが一番重要な気がします。

今思えば、大事なことは、すべて「入門コース」に書かれてあったのですが、

忙しさにかまけて、全然進んでいませんでした。

最近、折に触れて、
「すべての人が幸せであれ！」
という思いが起こるようになってきました。

今はとにかく、この流れを断ち切らないように、「贈る！」ことに専念し続けているところです。

ありがとうございました。